

飛躍 HIYAKU

第 266 号

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日／2008年5月1日

●発行者／東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

ダンス部 全国大会4位 高輪カップ(男子バレーボール)開かれる



高等学校新入生代表の白滝理博君と中等部新入生代表の唐島理都さんによる「入学の言葉」



ダンス部、全国大会のメンバー



熱戦がくり広げられた高輪カップ

2008年度学校運営方針

—今年度の「重点目標」—

高等学校の皆さんの中には、新年度になって教室に入ったときに全教室に設置されたアクティブラボードを見てびっくりした人も多いのではないでしょうか。さらに、アクティブラボードを用いた授業を受けて、今までの授業とは質的にも大きく変化したことに、再び驚いたのではないでしょか。高等学校1年生から始まったTOEIC Bridgeも大きな改革の中の1つです。このように大きく変化、改革を推進し続けている本校は4月の入学式で中等部90名、高校441名、昨年度を上回る新入生を迎めました。全校1,568名が、学習・部活動に全力で取り組んで欲しいと希望しています。

さて、2008年度の「重点目標」は、昨年度からの継続事項、更に、発展を加えた事項、新たに加えた事項など、以下の11項目を設定いたしました。これから1年間、教職員一同「重点目標」に向かって積極的に取り組んでいきたいと思います。



来月号からの『飛躍』で、これらの改革への取り組みを詳しくお知らせしていきたいと思います。

ようこそ高輪台高等学校・中等部へ



白滝 理博
1年1組 渋谷区立上原中学校出身

入学してまだ間もないですが、高輪台高校に入学して良かったと思うところがいくつかあります。まず第一に、吹奏楽部の演奏が素晴らしいというところです。さすが「全国吹奏楽コンクール」で3年連続金賞を受賞した吹奏楽部です。次に、先生方が明るく優しいというところです。入学の言葉を作成している時にアドバイスをしてくれる先生や、「頑張れよ」と声をかけて

新入生の声

くれる先生。その先生方のおかげで入学の言葉も無事に終わらせることができました。そして最後に、先輩方も明るいというところです。自分のように見知らぬ人にも「こんにちは」と声をかけてくれた先輩や、「アメフト部入らない?」と誘ってくれる先輩もいます。

私は数日で良いところを3つ見つけました。そして、これから3年間でもっと見つけていくつもりです。しかし、当然のことながら、良いところがあれば悪いところもあるはずです。恐らく、1年生みんなが思っていると思います。階段が長すぎると…。

保護者の声

白滝 文良
1年1組 白滝理博君のお父様

「おれ、高輪台高校に決めたから。」息子からそう聞かされたのは突然でした。「それって決定?」「決定。」と息子。おいおい、志望校を決めるのは自由だけど入学させてもらえるかどうか決めるのは学校だよ。入学許可をもらえる成績、人物になれるの?思わず聞いて

しまいました。とはいっても両親とも東海大学出身であり、大学で校風や教育環境を体験しており、その付属校であれば満足できる学校生活が送れるだらうことは容易に想像できました。一緒に学校説明会に赴き、施設の立派さに目を見張り、大学への内部推薦の基準を伺い、SSHや英語教育の充実、部活動への参加率の高さは「文武両道」を実践できる高校だと、親子共々実感することが出来ました。この恵まれた環境の中でこれから3年間充実した高校生活が送れますように、皆様の温かいご指導をよろしくお願ひいたします。

歓迎の言葉



高校生徒会会长
松原 桃子
3年6組 川崎市立大師中学校出身

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さん、今どのような気持ちですか。新しい環境で知らない人も多く、友達・勉強・部活動のことなどで、期待と不安が入り混じった気持ちではないでしょうか。でも、この学校には親身になって相談に乗ってくださる先生方や友達が大勢いますから、安心して学校生活を送ってください。

対面式でもお話ししましたが、何事にも積極的に取り組めば、今までとは違う『新たな自分』が見えてくるはずです。私自身、生徒会長を務めることになるとは、入学時には考えもしませんでした。でも、「高輪台をもっと活気のある学校にしたい!」という一心で、勇気を出して選挙に出たことで、新しい人たちとの出会いを経験し、精神的に大きく成長きました。

これから学校生活で楽しい時も辛い時もあるでしょうが、常に多くの人たちが皆さんのチャレンジを応援してくれます。



中等部生徒会会长
黒澤 つむぎ
2年B組 港区御成門小学校出身

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

突然ですが、皆さんは高輪台の中等部生活をどのような目標を持って過ごしますか。「部活動を頑張る」という人もいれば「勉強を頑張る」という人もいると思います。目標は人それぞれだと思います。でも目標に向かって努力するのはみんな同じです。新入生全員が目標を達成できることを願っています。

そして、もう1つみなさん頑張ってもらいたいことがあります。それは、3年間の中等部生活を楽しむことです。途中でくじけそうになったり、辛いこともあると思います。その時に支えてくれるのは仲間です。友達と一緒に中等部生活を楽しんでくれることを祈っています。

中等部1学年だより

4月5日から2泊3日、静岡県にある三保研修館で新入生オリエンテーション合宿を行いました。入学してすぐに寝食を共にし、またいろいろな見学や体験を通して、クラスや学年で親睦を深めることができました。

成長を感じた3日間

中等部生徒指導主任 笹木 春光

中等部1年生は、4月5日から2泊3日でオリエンテーション合宿を行いました。慣れないネクタイを結び、大きめの制服を着て、大きなバッグを背負って登校してくる姿が印象的で、ついこの間小学生だった生徒達がどの程度変わるものかと楽しみでした。

ほとんど言葉を交わしたことのない人と寝食を共にする。先生はどんな人たちなのだろうか。そんなことを思いながら、期待に胸を躍らせているのと同時に、緊張している様子が見えました。開校式では、しおりにある目標や注意事項を守った生活を送ること、特に「挨拶・返事・言葉使い・話

を聞く姿勢・持ち物の管理・体調管理がしっかり出来るようになること」を決意しました。

バスの中では、元気すぎるほど会話を楽しんでおり、もう夕食の頃には知り合って間もない友人と仲良くうち解け、楽しく過ごしていました。そして、夜の「クラスの時間」では先生方の話を真剣に聞き、その後各クラスで自己紹介をしましたが、ここでは緊張しながらも、各々が自分をアピールしていました。その後も色々と体験をしましたが、一番感慨深かったのは、鉄舟寺の前で歌った建学の歌でした。みんなが一つになって一生懸命歌っている姿を見て、感激しました。作詞をした先代の松前重義総長も、この光景を見ればさぞかし喜んでいたことと想像します。

研修を振り返ると、初日にはできない人が多かった挨拶や言葉遣いも、最終日にはきちんとでき、顔つきも心なしか中学生らしく見えました。本当に成長を感じた3日間でした。

不安だった合宿

磯野 璃菜 1年A組 朝霞市立朝霞第3小学校出身

いま思うと、オリエンテーション合宿の3日間はあつというまだったなあ、と思います。

私ははじめ、ホームシック気味でした。オリエンテーション前日はもちろん泣いたし、とにかく不安でした。みんなの名前もちゃんと覚えていないまま、1日目を迎えることになりました。

しかし、友だちがいてくれたから、この不安も乗り越えることができたと思います。合宿が始まると時間はさらさらと流れました。合宿は思ったより楽しく、もっといたいと思うようになりました。

この合宿を通して、友だちの大切さに加えて、大勢で行動するときの団結力も大事であることを学びました。この3日間で得た経験を、これからの中学校生活に活かせたらいいな、と思います。

オリエンテーション合宿

有田 達也 1年B組 私立大西学園小学校出身

待ちに待った、2泊3日のオリエンテーション合宿。喜びと不安を持ってバスに乗り込みました。バスの中では話がはずみ、楽しく始まりました。

日本平はずしく、気持ちが良かったです。久能山東照宮の景色がきれいでした。三保の松原はたくさんの松が青々と空に向かって伸びていました。後ろにうっすらと富士山が構えていました。苺は練乳をつけなくてもおいしかったです。体験学習では、きれいに染まって良かったです。藍染を発見した先人たちの知恵には感動しました。すべては、なんとか終わりました。バスは雨の中を東京へ向かって走り出しました。短く感じた2泊3日でした。

自分の目標は7割達成できたと思います。そして、色々なことを学びました。これからの学校生活で活かていきたいです。



いちご色のジャージも似合っています

少しづつ違う柄に仕上がりました!



登呂遺跡の前で

中等部2学年だより

港区長選挙標語コンクール佳作受賞 「たった一つの票がいつかの未来をきりひらく」

感謝の気持ちを込めて

東出 葉月

2年A組学級担任

昨年度、中等部の生徒は道徳の授業を通して多くのことを学びました。その1つに「町について」考えるという授業を行いました。自分たちが一日のうち最も長い時間過ごしている港区。その港区をより良い町にしようとみんなの意見をまとめ実行してくださる区長。その区長を決める選挙権を中等部の生徒たちは持っていないませんが、“一人でも多くの人に選挙に参加してもらえるように呼び掛ける”という形で参加しました。それぞれが1~2作品の標語を考え、全員で応募しました。応募総数709点の中から木賀菜々美さんが佳作入賞となりました。

生徒たちは真剣なまなざしで標語を考えてくれました。日頃お世話になっている港区への感謝の気持ちを今後も忘れず、少しでも貢献していくからと思います。

道徳の授業を通じて

木賀 菜々美

2年A組 横浜市立池上小学校出身

私は昨年度、1年生の時に「港区長選挙啓発標語コンクール」に応募しました。

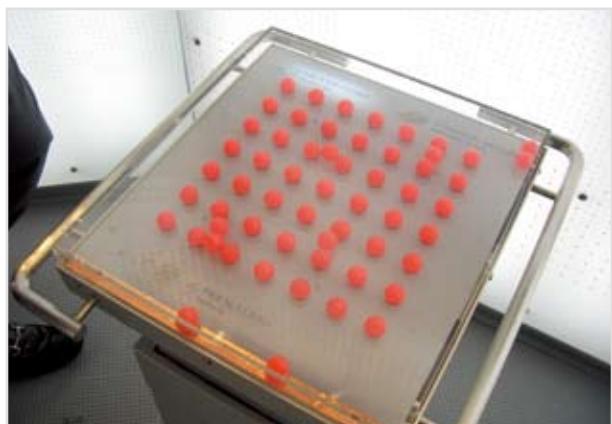
道徳の授業で、先生は港区について次のように話して下さいました。「みんなそれぞれ住んでいる場所は違うけれど、一日の中で港区にあるこの学校で過ごす時間は家で過ごす時間よりも長い。だから、私たちも港区の一員であるんだよ。」

先生が話して下さったように、私は港区の一員として港区がより良い町になるようにと、今回の標語を考えました。そして、私たちの年齢では選挙にまだ参加できないので、標語を考えることで少しでも選挙に興味を持ち、参加できたことはとても良かったと思っています。また機会があれば参加したいです。

今年度は「科学」をテーマとした校外行事を展開

本校の高等学校ではSSH活動を通して、先端科学技術を追求する上で必要となる「考えるプロセス」の力を養うため、日本科学未来館を活用した独自のプログラムに基づく教育を行っています。その「考えるプロセス」を中等部の早い段階から身につけてもらおうと、5月29日（木）に校外活動の一環として、中等部生徒が日本科学未来館を訪れます。「体験」を通して「まとめて表現する」機会を全員が持つことで、どんな力を身につけることができるのか。実施後の報告は、この飛躍紙面で改めてご紹介します。

おうと、5月29日（木）に校外活動の一環として、中等部生徒が日本科学未来館を訪れます。「体験」を通して「まとめて表現する」機会を全員が持つことで、どんな力を身につけることができるのか。実施後の報告は、この飛躍紙面で改めてご紹介します。



これらはなんでしょう。答えは現地で!

高校1学年だより

「挨拶」

高校第1学年主任 米谷 昭人

挨拶は自分をアピールする最も簡単な手段です。「ここにいますよ、見てください。」ということを挨拶という形で表現できます。自分をアピールするということは自分に自信がないとできません。自信がある人は挨拶が簡単にできます。自分をアピールすることが簡単にできるのです。自分に自信のない人はどうでしょう。あまり挨拶が上手ではありません。そのような人は、意識して挨拶をしてみましょう。挨拶をすることにより段々と自信が出てき始めます。たかが挨拶だと思いますが、自分をアピールするということ、自分に自信が持てる人と

いうことを意識してお互いにこれから挨拶をしていきましょう。私もどんどん挨拶していきます。



学年主任 米谷 昭人

家族とバスケットを愛する男です。女子は全クラス教えますのでよろしくお願いします。

1組担任 高橋 光太

ワインを愛する野球好きの男です。教科は数学です。担当クラスは、1組と4組です。よろしくお願いします。

2組担任 彦坂 優子

今年も仕事と部活動を頑張ります。今年はもっとライブで音楽を楽しみたい!赤坂BLITZが復活して嬉しいです。

3組担任 工藤 優樹

妻と子供を置いて北海道から単身赴任中です。子供に顔を忘れられないように、ほぼ毎週札幌に帰っています。

4組担任 吉田 恵美

愛するはエジプトとイタリア! 読書が趣味で、学校までも歩きながら何か読んでいますが気にしないで下さいね。

5組担任 川島 純一

サッカーと海とゴールデンレトリバーが大好きです。最近、生のクジラを見てぶったまげました(>_<)

6組担任 田村 基成

1年で15kg痩せたことを思い出し、今年はマイナス5kgを目標にがんばります。

7組担任 鈴木 康恵

最近フィットネスクラブに通い始め、岩盤浴に夢中です。これでもうすぐナイスバディー! の予定です…

8組担任 大畠 輝明

付属星高校より異動して来ました。趣味はドッグスポーツで愛犬と障害物競争やフリスビーなどを楽しんでいます。犬好きの人は声掛けて下さい。

9組担任 田中 正行

趣味はドライブとラーメン! 景色がきれいな場所やおいしいラーメン屋を知っている人は教えて来て下さい。

学年所属 金子真奈美

はじめまして。担当は1,4,7,9組の国語。部活動は茶道と華道、興味のある人は声をかけてください。

学年所属 青木 直也

音楽をこよなく愛しています。バンド話に興味があれば気軽に声をかけてください。

学年所属 畠田 貴生

新入生の皆さんこんにちは!高輪台高校で夢の実現を目指して頑張ってください!応援しています。

学年所属 野崎 和夫

どんなことがあっても、浦和レッズと読売巨人軍を応援しています。1年を通して頑張っていきましょう。

学年所属 島田 聰

今日は。英語は実技教科です。どの教室からも、皆さんの元気な声が響いてくるような授業を期待しています。

高校2学年だより

学級担任の抱負

1組 塚田 信哉

- 柔道部と剣道部の練習に参加し、メタボの解消に努める。
- 「人事を尽くして天命を待つ」をモットーに早めの対応と処理を実施し、ゆとり教育の実践に努める。
- クラス目標を「自他共栄」とし、クラス全体で成長できるように努力する。

3組 中村 仁

生徒を知る。生徒を知れば親が見える。親が見えれば家庭がわかる。家庭がわかれば学校が求められていることに気付く。それに気付けば先生達と話ができる。話ができるれば自分のやるべきことがはっきりする。そうすれば役に立つことができる。役に立てば幸せを感じられる。幸せになれば自分の周りを中心に戸惑中が平和になる……かもしれない。

5組 長田 一水

- 今年は去年にも増して、学習(物理)と部活動(中高バスケットボール)とSSHの両立を図る。
- すべての学校行事に対して2年5組が優秀な成績を収める。
- 時間的有效に使い、プライベートを充実させる!!
- 現在特訓中のアコースティックギターでMr.Childrenの曲を弾き語る。

7組 田島 一代

- 7組全員が3学年に進級できるように勉強しろー！遅刻欠席をするなー！と怒鳴り続ける。
- 仕事を早めに終え、我が子の面倒を見る時間と…少しは旦那の相手をする時間を作る。
- アーチェリーに挑戦してみたいなぁ…でも、道具が高いから今年もまた見てるだけかなあ。

2組 大澤 泉

- 今年の夏も、ディベート研究同好会のメンバーに『ディベート甲子園』へ連れていく。
- 一年を通して教職の勉強をやり直し、実践的で、しかも理論的な裏付けのある教育について考える。
- これから何年もかけて、実際に飼う予定もない小型犬について研究を進める。

4組 山本 祐美

- 生徒と熱く語る！そして笑いあり、涙ありの1年にする。
- バレーボール部全員で夢を叶える。一生の思い出にするぞ。
- バレーボールと学校以外に興味をもつ！(笑)24年間、バレーボール以外にはまったく事がないんです…。

6組 今井 貴志

- 6組がなんでも一番です。
- 高輪台の生徒全員が青春を謳歌する。その手助けが少しでも出来たらいいですね。
- 僕も20代最後の年を満喫させてもらいます。

8組 稲葉哲之介

- 8組の皆が勉強・部活動・学校行事に前向きに取り組んでいけるように、僕自身が前向きに生きていく。
- 専門の物理はもちろん、幅広く教養を高める。
- せっかく少し覚えたゴルフを今後も続ける。

9組 上松 未来

- 9組47名ひとりひとりとじっくり話しをする。
- わがままを言わない思いやりのあるクラスにする。
- 毎日6階の教室まで歩いてあがり、8月に向けてスリムになる。
- 日々楽しむ!!

高校3学年だより

進路よりも大切なこと

3年生は、今後の進路が決まる大事な時期です。既に希望する学部・学科がある人、そうでない人がいるでしょう。大学で何を学びたいのか、どんな道に進むのか、自分のやりたいことは何なのか…悩みは尽きません。ただ、ここで1つ考えてほしいのです。それは、一番大事なことは進路ではないということ。

もちろん、自分自身の進路ですから、自分なりに懸命に考え、行動し、道を切り拓いていってほしい。けれど、一番大事なことは、高校生のうちに“人間性”をもっと高めていってほしいということです。3年生に関して言えば、残された時間は後1年なのです。

これは高輪台高校が普段から「当たり前」にしていることなのです。例えば、毎日の挨拶をしっかりとる。制服をきちんと着る。出来る限り遅刻や欠席をしない……普段あなたが先生方から言われていることが、社会に出てから非常に重要になってくる。

授業のチャイムが鳴り、先生が入ってくる。その先生はシャツを出して、ネクタイを胸まで下げている。ボタンも開けっ放し。靴の踵を踏んで、ガムを噛んでいる。こんな先生が授業をする…どうでしょうか？もしこんな教師がいたら、あなたはこの人から何かを学びたいと思うでしょうか。もしあなたがこのような人から学ぶことがあるなら、「この人と同じことをしてはいけない」ということです。



4月7日(月)実施の健康診断

「こんなこと当たり前だ」という人もいるでしょう。そうです。「当たり前」です。むしろ「当たり前」だと思っていてほしいのです。けれど、こんな「当たり前」のことがいつから「当たり前」になるのでしょうか。

「当たり前」と思えること、それはあなたが「当たり前」に出来ているからです。逆に言えば、出来ていない人は「当たり前」ではない。社会人になっても「当たり前」のことが出来ないのでしょうか。ためには、普段から意識して行動しないわけにはいけないです。

人間性が高い人は、多くの人から信頼されます。私たち高輪台高校の教職員は、あなたたちが誰からも信頼される人間になってほしい、そう願っています。だから口うるさいくらいに注意もするし、時には厳しいことも言う。高校3年生のうちに、「当たり前」のことを「当たり前」に出来る人間になって、卒業していってほしいと思います。



4月7日(月)実施の健康診断

SSH活動報告

2007年度のSSH活動のまとめとして、3月23日、「関東近県合同発表会」を埼玉大学で開催しました。本校を含め、関東エリアのSSH指定校12校が参加。各自が行ってきた研究をポスターや口頭で発表しました。本校からは、3年SSHクラスの34名がポスター発表、3名が口頭発表を、2年SSHクラスの4名がポスター発表を行いました。自分の研究を発表し、他校の先生や生徒と意見交換でき、これからのSSH活動への糧になったと思います。

貴重な経験

山口 千尋

3年11組 足立区立第十一中学校出身

今回、初めて関東近県SSH合同発表会の学校の代表発表者として参加しました。今回の発表代表に選ばれたときは、正直やりたくはありませんでした。なぜなら個人的に自分達のやった課題実験にあまり自信を持っていなかったからです。でもせっかく学校の発表代表者に選ばれたのだから最低限悔いの残らない発表にしようと決めました。発表の準備は思った以上に大変でした。選ばれたのが春休みに入る直前だったので、春休みを返上する覚悟で休みの日に学校にいって準備をしました。準備は直井雄介君と担当の石井良先生の3人で行い、何とか発表会に間に合いました。石井良先生に厳しく指導していただき、準備には大変苦労しました。でもそれがあったからこそ最低限の恥ずかしくない発表原稿ができたと今となっては思っています。発表ではトラブルがありましたが、終わったときは達成感を感じました。今、思い返してみるととてもいい経験ができたと思っています。



パワーポイントでの口頭発表



多くの人が聞きにきてくれました

発表と交流で学んだこと

渡邊 駿

3年11組 川崎市立今井中学校出身

私達が半年間かけて実験を行ってきた課題実験の成果を発表しました。私は生物(メダカの実験)グループでポスター発表をしたのですが、他校の生徒達が数多くの質問をしてきました。私達の気づかなかった点、実験結果に関したことでした。それらの質問を受け、素早く別の角度から物を理解するというレベルの高さを感じたと共に、答えて理解してもらうのに大変苦労しました(笑)。また、実験内容を理解してもらう為に言葉を選び、丁寧に話す難しさも感じました。しかし、今回は良いこともあります。他校の生徒達から細かい指摘やアドバイスをもらうことができ、私達の改善点を見つけることができたのです。それにより、今後の新たな目標を作ることができました。今回の発表を通して、別の角度からの物の見方、私達の改善点などが明確になったことが大きな収穫であり、今後の課題として生かしていきたいと思います。

他校から学んだこと

川村 亘

2年9組 川崎市立京町中学校出身

今回、SSH関東近県合同発表会に参加してとても良い経験になりました。普段は、自分の学校でしか聞けないプレゼンテーションではありますが、この発表会を通して他校の生徒たちのものを聞くことができました。他校はどれもレベルが高く、自分たちが今まで学んできたプレゼンとは違う、文章構成・論理形成・発表方法にはとても魅かれるものがありました。初めの疑問から仮定をたて、実験結果を出したその結果から疑問を出して実験をする、これを繰り返して自分の求めているものに $+ \alpha$ を付け足してプレゼンしていく方法などもあり、とても聞いていて面白く自分も真似したいと感じました。

それだけでなく研究の内容は、身近な生き物から特殊相対性理論までさまざまなジャンルがあり、どれもとても興味深いものでした。この発表会に参加して、物を研究することの面白さを知ることができ、来年自分が研究・発表することがとても楽しみになりました。



「アマガエルは嗅覚でも餌を見分ける」の研究発表にくぎづけです

高輪カップ 開催 男子バレー

3月23日(日)に本校アリーナにて第3回高輪カップが開催されました。参加校は14校、12チームと過去最大規模での大会となりました。試合は、午前に予選リーグ戦を行い、午後はその結果をもとに、リーグ戦1位のチームは決勝トーナメント、その他のチームはチャレンジマッチを行いました。例年よりも早い時期の開催となりましたが、新2・3年生になる選手たちにより、若さ溢れる試合が繰り広げられました。またさらに本大会が充実したものになっていくよう本校男子バレー部員一同努力していきたいと思います。

参加校

目黒区立東山中学校	大田区立大森第二中学校
足立区立第九中学校	足立区立東綾瀬中学校
江戸川区立小松川第三中学校	江戸川区立小岩第一中学校
荒川区立諏訪台中学校	川崎市立富士見中学校
川崎市立大師中学校	川崎市立西高津中学校
大田区立矢口中学校	葛飾区立青戸中学校
大田区立貝塚中学校	葛飾区立葛美中学校

優 勝	足立区立第九中学校
準優勝	江戸川区立小松川第三中学校
3 位	川崎市立西高津中学校

決勝トーナメント

足立九中

14-25
25-27

17-25
25-23
21-25

18-25
21-25



高輪カップを終えて

男子バレー部部長

板山 棱

3年5組 港区立高陵中学校出身

第3回高輪カップを、無事に終了することができました。今年は、女子バレー部の力を借りず男子バレー部の部員だけで運営しました。いろいろな反省点もありますが、協力し合いながら大きな問題もなく終えることができました。

試合は去年に引き続き、足立九中が優勝しました。圧倒的な力で、レベルの高さを感じました。足立九中は、

行動が素早く礼儀正しいという印象でした。強いチームは個人のバレー技術だけではないということを教えてくれました。先輩の指示に従って素早く動いていました。私は、こういうチームで成長した人たちと一緒にバレーができたらよいと思いました。高3の私は今年で卒業なので今年の高輪カップに参加した選手たとは、高輪台高校で一緒にプレーすることはできませんが、ぜひ高輪台高校でバレーをして欲しいと思います。そして、来年もたくさんのチームが参加してくれることを期待しています。今年の反省を生かし、高輪台高校でバレーがしたいと思ってもらえるように私たち部員も頑張ります。



閉会式の様子



優勝した足立区立第九中学校

希望を星につないで

ダンス部 全国大会4位

ダンス部部長 崎山 麻依子

3年10組 横浜市立日吉台中学校出身

初めて出場するU.S.Aの大会で、予選を見事1位で通過しました。しかし、ここからがスタートだと気持ちを入れ替え、次のセミファイナルまでの約1ヶ月半は、また新たな気持ちで練習に取り組みました。メンバー内でのすれ違いや、練習の取り組み方など様々な問題点がありましたが、幾度となくミーティングを重ね、辛くても声を掛け合いながら練習に取り組みました。29日の幕張メッセで行われたセミファイナルは、予選よりも遙かに広い会場で、全国各地から選び抜かれたチームが集まっているだけあって、華やかさも格別でした。しかし、そんな中でも圧倒されずに自分たちの力を精一杯出し切り、ファイナルへの切符を手にしました。そ



して、翌日のファイナルの日は、力を出しきると共に最高の笑顔で踊りきることができました。みんな達成感に満ち溢れていたと思います。ここまで来ることができたのも、ダンス部の仲間や先生、保護者、友達など多くの支えがあったからです。

予選からファイナルまで多くの方々が応援に来てくださいました。本当に心強かったです。これからも次の大会に向けて頑張っていくので応援よろしくお願いします。ありがとうございました。

高輪台ロゴコンテスト



大賞に選ばれたロゴマーク
"TAKANAWADAI" の下の絵
に込められた意味は…

高輪台高校では知的財産教育がさまざまな場面で進行しています。すでに何度か紹介されていますが、知的財産教育とは、知的財産を学ぶことを通じて、創造性を發揮し、主体性をはぐくむ教育です。2007年度、2年生(現3年生)を対象に「高輪台ロゴコンテスト」が実施されました。さまざまな場所で見かける企業や団体のロゴマークやキャラクター、これらは一見簡潔に見えて、実はさまざまなメッセージや意味が込められているのです。身近な学校のロゴマークを考えることは、取り組みやすく、かつ創造性を喚起するのに最適な方法の一つなのです。さて今回、各クラスから多数のロゴマークを募集し、生徒による投票の結果、見事大賞に選ばれたのは11組の齊藤さん、中野さん、和田さんの3名が考えたマークでした。「TAKANAWADAI」の下の絵は、東海のシンボルである“かもめ”をモチーフとして高輪台高校から未来に羽ばたく生徒の翼を表し、また本校の“文武両道”というテーマに沿って、学業においても部活動においても切磋琢磨する心、情熱を持つ心“ハート”をイメージした」ということです。現在、このロゴマークの活用を検討しています。



1人だけの卒業証書授与式

去る3月26日朝9時より、3年3組加王えみかさんの卒業証書授与式が校長室で行われました。

加王さんは2007年9月23日～2008年3

月23日まで、HTIC(ハワイ東海インターナショナルカレッジ)にてFESTプログラムに参加していたため、クラスメイトと共に3月1日の卒業証書授与式には参加できませんでした。校長室では校長

先生はじめ、副校長、教頭、学年主任、学級担任、学年団の先生方、先輩、クラスメイトが参加し、たった1人の卒業証書授与式が挙行されました。卒業証書授与では本人も少し緊張した面持ちでしたが、立派な晴れ姿がありました。このFESTというプログラムは東海大学進学希望の生徒で、かつ一定のレベルの英語力はもちろんのこと、学内での成績が基準に達していないと参加できません。また、長期にわたる共同生活に耐えられるだけの内面の強さも要求されます。今後も優秀な生徒が参加することを期待しています。

お知らせ

高等学校の行事 5月17日(土)校外活動・スポーツ大会

1年

東海大学湘南校舎見学
進路について考え、これからの学習を充実させよう！

2年

本校総合グラウンドでの
スポーツ大会
新しいクラスでの最初の学校行事で団結しよう！

3年

バーベキュー
卒業に向けて思い出を積み重ねよう！

漢検 6月7日(土)
全学年の希望者対象です。

英検 6月14日(土)
高2、高3、中2は全員受験です。高校生はCALLの授業を大切に！

行事予定**May 5月**

- 1日(木) 朝礼、火曜日の授業
- 3日(土) **憲法記念日**
- 4日(日) **みどりの日**
- 5日(月) **こどもの日**
- 6日(火) **振替休日**
- 7日(水) 火曜日の授業
- 8日(木) 憲法記念講演(高1、1・2時限)
- 10日(土) 第36回後援会定期総会、第5回部活動後援会定期総会
- 14日(水) 一斉公開授業
- 15日(木) 学年集会(高1、中1)
- 17日(土) **校外活動(高1、東海大学湘南校舎見学 高3、バーベキュー) スポーツ大会(高2、総合グラウンド)**
- 22日(木) 生徒による授業評価アンケート、校医相談日
- 24日(土) 高輪台役員会
- 26日(月) 前期中間試験(高校 ~29日、中等部 ~27日)
- 28日(水) スポーツ大会(中等部 午前、アリーナ)
授業(中等部 午後)
- 29日(木) 校外行事(中等部)
- 31日(土) 後援会委員総会

June 6月

- 2日(月) 東海大付属推薦小論文試験(高3)
小論文コンテスト(高1、高2)
作文コンテスト(中等部)
教育実習(~20日)
- 3日(火) 朝礼、生徒総会(7限目)短縮授業
- 5日(木) 創健検診(高1、高2、中等部)
- 6日(金) 創健検診(高2、高3)
- 7日(土) 漢検(希望者)、後援会学年懇談会
- 14日(土) 英検(高2、高3、中2)
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング
- 19日(木) 東海大学進学説明会(高2)校医相談日
- 21日(土) 保護者会(高1、中1)
- 26日(木) **研修旅行(高2)(~7月1日)**
4時限授業(高1、高3、中等部)(~30日)
- 27日(金) **スポーツ大会(中等部、総合グラウンド)**
- 28日(土) **スポーツ大会(高1、総合グラウンド)**
- 7月1日(火) **スポーツ大会(高3、総合グラウンド)**
自宅学習日(高1)

**2008年度入学式の様子****編集後記**

「いま、最も関心のある出来事は何か」。新学期早々、教室で高1の生徒に聞いてみた。圧倒的に多かった答えは「北京五輪」。チベット自治区の暴動に端を発した中国政府の武力弾圧に対して、聖火リレーが進むにつれ北京オリンピックボイコットの声が広がっている。1980年のモスクワオリンピック、それに続くロサンゼルスオリンピックで繰り広げられた東西両陣営のボイコット合戦の再現とならないことを祈りたい。そう言えば、昨年東海カルチャーセミナーで講演頂いた山下泰裕氏もモスクワオリンピックボイコットで涙をのんだ1人であった。スポーツには平和が似合う。(か)